

「カフェ・ソフトウェアクオリティ」 開催SIG

2022年度活動計画書 (兼 設立趣意書)

Rev. 1.0 2022/03/31(水)
SIGリーダー 大野泰代



SIGの名称・目的・目標

- ▶ SIG名称

- ▶ 「カフェ・ソフトウェアクオリティ」開催SIG

- ▶ 当SIGの目的

- ▶ ソフトウェア品質に関する勉強会「カフェ・ソフトウェアクオリティ」を開催すること。

- ▶ 当SIGの目標

- ▶ 開催する勉強会を、参加者にとって有意義なものにする。
- ▶ ソフトウェア技術者が「社外の人とソフトウェア品質について会話する」場を増やす。
- ▶ トーカーと参加者はフラットな関係で気軽に語り合える場を提供する。



SIGの活動内容

- ▶ SIGの活動内容と成果物
 - ▶ SIGメンバーは「世話人」として勉強会を運営する
 - ▶ 勉強会の年間開催計画の立案
 - ▶ 各勉強会の実施
 - ▶ 開催準備
 - ▶ 告知
 - ▶ 当日作業
 - ▶ トーカーへのアンケート等フィードバック
 - ▶ SQiPコミュニティ参加者による個別勉強会開催の支援活動
 - ▶ 勉強会の内容に関するアドバイス
 - ▶ 勉強会開催実務（準備、告知等）の支援
- ▶ 勉強会の中立性
 - ▶ 勉強会は非営利活動として開催・運営する。トーカーと参加者の間に営利関係が生じるような活動はしない。



年間計画

- 勉強会開催予定は以下の通りです。
 - 2022年4月21日
 - 2022年5月19日
 - 2022年6月23日
 - 2022年7月28日
 - 2022年10月6日
 - 2022年11月10日
 - 2022年12月15日
 - 2023年1月19日
 - 2023年2月16日
- 世話人の打合せはネットで随時行います。

SIGのメンバー

▶ SIGメンバー (2022/03/31 時点)

氏名	所属	リーダー
藤野 賢一郎	東芝デジタルソリューションズ株式会社	○(2022年度～)
大野 泰代	株式会社オープンストリーム	○(2019年度～2021年度)
和田 信吾	東洋ビジネスエンジニアリング株式会社	○(~2018年度)
小島 義也	エプソンアヴァシス株式会社	
牛渡 幸恵	ソーバル株式会社	
鈴木 準一	富士通株式会社	
岩佐 賢	富士通株式会社	
橋詰 隆裕	SCSK株式会社	
鎌倉 洋一		



SIGメンバーの募集

- ▶ メンバーの募集

- ▶ 勉強会を一緒に運営するメンバー(世話人)を随時募集しております。

- ▶ メンバー応募の連絡先

- ▶ cafe-swq-query@juse.or.jp



Appendix

当SIGの理念

ソフトウェア品質に関する「組織のカベを超えた交流」の機会には、大きな意義があります。

なぜなら、組織の中に閉じこもっていても、視野が広がらず、気づきを得るチャンスが広がらないからです。

私達は、より多くのソフトウェア技術者に、

「社外の人とソフトウェア品質について会話することには、こんなに意義があり、そして楽しい」

ということを知ってもらいたいと考えています。

「品質について会話し、気づきを得る場」として、SQuBOKユーザー会は、「勉強会」を開いてきました。

- ・発表者が、自分の抱えている問題や悩み、また新しいアイデアについて、考えをまとめて発表する。
- ・参加者は、発表内容について感じたこと考えたことを、発言する。
- ・それを聞いた発表者や他の参加者が、自分の考えを述べ、対話を深めていく。

当SIGの理念

勉強会を、SQiPコミュニティのSIGとしてリニューアルするにあたり、その名称を、

「カフェ・ソフトウェアクオリティ」

とします。

「カフェ」とは、

- ・誰でも自由に、対等な立場で参加する。
- ・講師が教授するのではなく、参加者が主体的に会話・議論する。
- ・知識を持ち帰るのではなく、気づきを持ち帰る。

ことができる場です。

また、「知識を持ち帰る」勉強会を否定するわけではありません。

それにも、高い価値があります。

私達は、それらを「特別講座」と呼び、開催を支援します。

当SIGの理念

勉強会を継続して開催することを通じて、

- ・ 大きな「入れ物」としての、メールベースの「SQiPコミュニティ」があり、
- ・ 「対話による気づき」を重視する、私達の勉強会があり、
- ・ 気づきにより刺激を受けた人が、
新しくSIGを立ちあげたり、
SQiPのセミナーや研究会に参加したり、
社内で勉強会を開いたり
する。

このような「ソフトウェア品質を学ぶ人が増えていく」大きな流れを作りたいと、私達は考えています。



勉強会のねらい

- ▶ 参加者が対話することで、刺激やヒントを得る。
- ▶ 参加者間での意見交換や議論を通じて、自分がいままで気が付かなかった、新たな視点に気づく。
- ▶ 参加者間での意見交換や議論を通じて、自分の考えが、他の参加者とずれていること、またはずれがないことに気づく。
- ▶ 講師から何かを一方向的に教えてもらう場ではない。

過去の開催実績

- 2012年
 - 第1回：信頼度成長曲線
 - 第2回：レビューの質
 - 第3回：GQM
 - 第4回：もう少し聞きたいSQiPシンポジウム
 - 第5回：レビューについて

過去の開催実績

➤ 2013年

- 第6回：データの活用
- 第7回：システム、単体テスト
- 第8回：失敗学、バグ票
- 第9回：時間管理、テスト管理
- 第10回：BABOK、軽品質
- 第11回：品質特性とテスト、人間性重視
- 第12回：もうちょっと聞きたい SQiPシンポジウム2013
- 第13回：アドバンストマネジメント、トーク主体の学習を考える
- 第14回：ユーザビリティテストティング

過去の開催実績

➡ 2014年

- ➡ 第15回：「レビューのテスト化」
- ➡ 特別：ODC
- ➡ 第16回：派生開発
- ➡ 第17回：品質エンジニアのスキル育成、ソフトウェア品質管理の人的要素
- ➡ 第18回：安楽椅子探偵のすすめ、レビューの「底上げ」
- ➡ 第19回：「ビジネスは愛! ならば品質も愛なのか!!」、「データ指向のワークライフバランスマネジメント」
- ➡ 第20回：「マジックワード」 & 「仕様理解」
- ➡ 第21回：「もうちょっと聞きたい SQiP シンポジウム2014」

過去の開催実績

➡ 2014年(続き)

- ➡ 第22回：「短納期でのテスト」 & 「結合試験の期間と品質向上」
- ➡ 第23回：「ソフトウェア品質を自ら学ぶ人を増やすために、私達には何が出来るか？」

過去の開催実績

➤ 2015年

- 第24回：「自社内で開く「カフェ・ソフトウェア・クオリティ」勉強会」（Data Scientist meets Software Quality、「品質・テストの専任体制への道」）
- 第25回：「チームの境界線とソフトウェア品質」&「地獄のレビュートレーニング～妄想編～」
- 第26回：「黙って座ればぴたりと当たる欠陥特性の話」&「ソフトウェア品質技術者試験合格への道」
- 第27回：「テストチームの成長」
- 第28回：「若手レビューア育成物語」
- 第29回：「ベター・プラクティス・2」&ソフトウェア品質特性（ISO/IEC 25000）を擬人化しよう！」
- 第30回：中止

過去の開催実績

➡ 2015年(続き)

- ➡ 第31回：「レジリエンスなシステム」 & 「(続) 品質・テストの専任体制への道」
- ➡ 第32回：「ソフトウェア品質特性(ISO/IEC 25000) 第2弾 大喜利でSQUaREに親しもう！」
- ➡ 第33回：「もうちょっと聞きたい SQiPシンポジウム 2015」
- ➡ ネットワーク型データモデルを用いた問題点の可視化と問題分析への応用例 ～SQiP2015の再演+α～ & 「」
- ➡ 第34回：「使えるテスト計画とは？戦略・段取り・成果物を意識したテスト計画」

過去の開催実績

➡ 2016年

- ➡ 第35回：「再現と不再現のあいだ」
- ➡ 第36回：中止
- ➡ 第37回：「ODC分析を体験してみよう」
- ➡ 第38回：「「領域」を飛び越えて知識を活かす」
- ➡ 第39回：「もうちょっと聞きたいSQiPシンポジウム」
- ➡ 第40回：「もうちょっと聞きたいSQiPシンポジウムパート2」
- ➡ 第41回：「欠陥モデリングをやってみよう！」
- ➡ 第42回：「成功のなぜなぜ分析：デスマーチを仮想化して、一致団結、鬼退治をしよう！」
- ➡ 第43回：「GSNを活用した技術者能力計測手法の提案」

過去の開催実績

➤ 2017年

- 第44回：「SCSK全社PMO活動のご紹介」と「レビューの能力の鍛え方私論」
- 第45回：「CMMIに振り回されないために知っておきたい事」
- 第46回：「品質改善に統計学でなく心理学を用いると」と「他分野の達人から学ぶ～レビュー能力という「技能」向上の方法論」
- 第47回：「振り返りで組織の資産をつくる」
- 第48回：「もうちょっと聞きたいSQiPシンポジウム2017」
- 第49回：「イノベーティブなシステムの為の、新しい品質概念(創造性)」と「もうちょっと聞きたいSQiPシンポジウム2017 Part2」
- 第50回：「ビジネスは愛、ならば品質も愛なのか」と「自動運転の為に必要な条件は？」
- 第51回：「Session Based Test Managementによる探索的テストの実践」と「レビューの「基礎能力」を考える」
- 第52回：「プロセス改善を行って果たして品質が良くなるか？」と「テストの属性を考えるワークショップ」

過去の開催実績

2018年

- 第53回：レビュー研究成果2017(認知バイアス、指摘活用)
- 第54回：レビューの極意 ～見えないものを見る方法～、QAエンジニアのためのストレス・ロンダリング」
- 第55回：セーフティ&セキュリティ開発のための技術統合提案と事例作成、ソフトウェアバグを狙い撃ちできるか
- 第56回：ODC分析結果からQC手法を使って改善案を推測する
- 第57回：「テストのやり方」と「報告のコツ」についてディスカッションしましょう
- 第58回：「派生開発におけるテストケースの第三者検証」、「続・報告のコツ」
- 第59回：「レビューを計画する」ということ」、「第1回パワポまつり年忘れ！私のプレゼン自慢・パワポカラオケ大会！！」
- 第60回：「続・続・報告のコツ」、「運用の観点を取り入れたレビュー手法の促進と有効性評価」
- 第61回：「アジャイルプラクティスを導入した開発における品質メトリクスの提案」

過去の開催実績

- ➡ 2019年
- ➡ 第62回 いまさら聞けないFP法とメトリクス活用（事例研究）
- ➡ 第63回 中止
- ➡ 第64回 心理的安全性とソフトウェア品質
- ➡ 第65回 認知バイアスを用いたレビュー手法 体験ワークショップ
- ➡ 第66回 原因を後から考えるアジャイルの振り返り 体験ワークショップ
- ➡ 第67回 QA現場のトラブルを病気に見立ててみよう！
- ➡ 第68回 「UXライティングは開発工程で使えるか？」、「RPA開発における工数見積りと非機能設計の勘所」
- ➡ 第69回 アジャイルの振り返り、鬼退治で問題解決 体験ワークショップ
- ➡ 第70回 中止

過去の開催実績

- ➡ 2020年
- ➡ 第71回 【withコロナ】オンライン環境における新たなレビュープロセスを考えよう！
- ➡ 第72回 「GUIテスト自動化ツールについて考えよう！」
 - ➡ トーク1：低頻度不具合の再現テストにおけるGUIテスト自動化ツールの導入効果
 - ➡ トーク2：GUIテスト自動化ツール活用勉強会

過去の開催実績

- ➡ 2021年
- ➡ 第73回 知りたい！伝えたい！テレワークでのレビューの工夫
- ➡ 第74回 休会
- ➡ 第75回 定量的品質指標をうちではこうして決めました
- ➡ 第76回 リモートワークでの<教育>って、どうしていますか？
- ➡ 第77回 『ソフトウェアの品質分析・評価の勘所』を語ろう
- ➡ 第78回 ソフトウェアプロセス改善のマネジメントの勘所
- ➡ 第79回 ソフトウェアプロセス改善のマネジメントの勘所
- ➡ 第80回 「ソフトウェア開発時の品質計画の勘所」を語ろう



勉強会以外の実績

➡ 2015年

➡ 「JaSST'15 Tokyo」 コミュニティブース参加

➡ 2016年

➡ 「JaSST'16 Tokyo」 コミュニティブース参加

➡ 2017年

➡ 「JaSST'17 Tokyo」 コミュニティブース参加